

第2章 農林業の概要

1 農地・農業

(1) 農地

高槻市の耕地面積*は586haで、市面積の5.6%です。

また、耕地の内訳としては田が550ha、畑は36haで、その耕地に占める割合は、93.9%と6.1%となり、大都市圏の農業としては、田における水稲の生産が中心となっています。

農業経営体*における経営耕地面積を規模別に見ると0.5ha未満の経営体が52.7%であり、1.0ha未満に拡大すると93.8%です。

(2) 農業経営体

農家数は1,213戸であり、そのうち自給的農家*が779戸で64.2%を占めており、販売農家*としては残り35.8%の434戸です。また、法人による経営体が4体あります。

また、農業経営体（個人経営体）435体のうち副業的経営体が322体で74.0%、準主業経営体が94体で21.6%、主業経営体が19体で4.4%です。

農業経営体の年齢別基幹的農業従事者の年齢構成を見ると65歳以上が80.3%です。

農業経営体の5年以内の後継者の確保状況別経営体数は、後継者を確保している経営体が48.2%で、後継者を確保していない経営体が50.7%、5年以内に農業経営を引き継がない経営体が1.1%です。

(3) 農業

水稲の作付面積は365haであり、米の収穫量は1,720tです。

高槻市の特産品は、米（市全域）のほか、トマト（榎田・三箇牧地区）、服部越瓜（はっとりしろり）（清水地区）、いちご（阿武野・清水地区）、花き（芥川地区）、シイタケ（榎田地区）、タケノコ（五領地区）が知られています。

市管理農道は32路線16.3km、ため池は89箇所、揚水機場が1機場と排水機場が7機場、その他、水路の各所にゲート等が設置されています。

※『2020年農林業センサス』及び農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』（令和2年7月15日現在）より



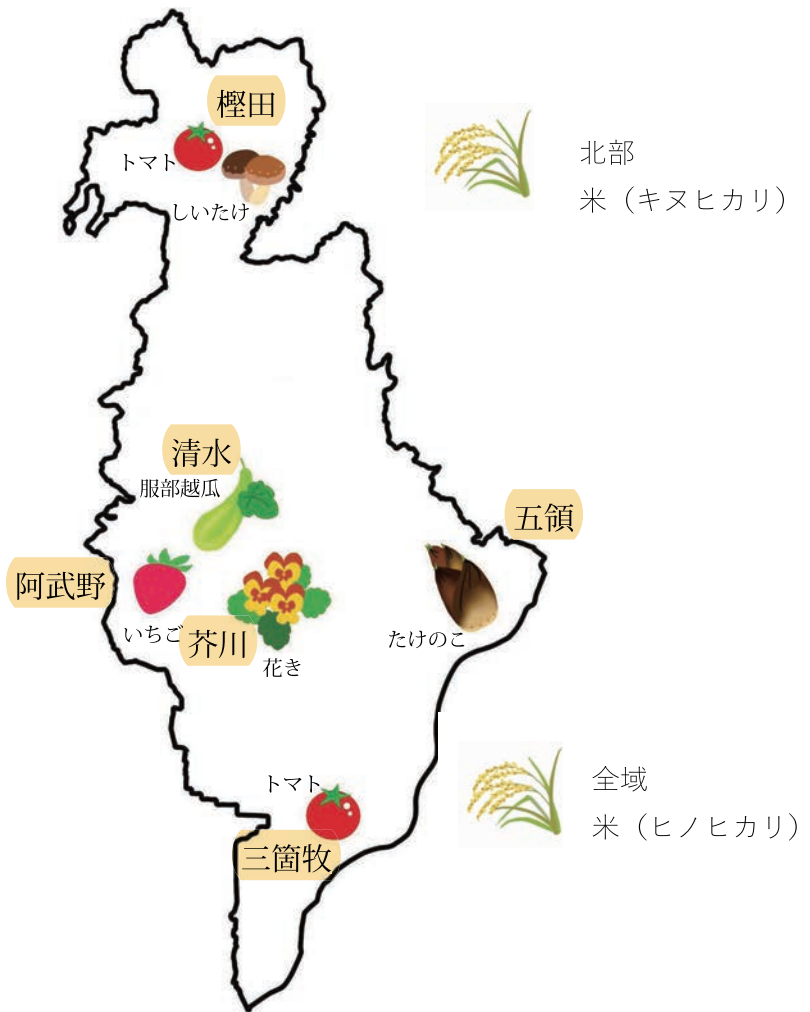
いちご



タケノコ



シイタケ



水稻



トマト



花き



服部越瓜



2 森林・林業

(1) 森林

高槻市の林野面積*は 4,949ha で、所有形態別では国有林が 143ha、公有林が 51ha あり、96.1%にあたる 4,755ha が私有林です。

林種別森林面積は 4,478ha あり、市域の総面積に占める割合は約 42.5%で、そのうち立木地が 4,280ha と、森林面積の 95.6%を占めています。立木地の内訳は人工林が 2,315ha で 54.1%、天然林が 1,965ha で 46.0%となっています。

(2) 林業

保有山林面積規模別経営体数では、8 戸の 87.5%にあたる 7 戸が 10ha 未満の林家であり、小規模林家が大半となっています。

一方、林業基盤施設である林道は 28 路線 52.5 kmあり、作業道については 7 路線 3.2 km となっています。

※『2020 年農林業センサス』及び『令和 2 年度大阪府統計年鑑』より